



ネイチャーセンターだより

2015年11・12月号

いきもの図鑑



ヒシクイ (カモ科)

学名 *Anser fabalis* 【豆のガン】
英名 Bean Goose

翼を広げると150cmを超える大型のカモの仲間。食性は植物食であり、植物の茎や根、種子、草などを食べる。ヒシの実を食べることから、ヒシクイ（菱喰）と名づけられた。日本には約12,000羽が越冬のために飛来する。根室では、春と秋に風蓮湖や牧草地で観察できる。特に秋季は、収穫後のデントコーン畑で刈り取りの際に落ちた種子を食べている姿が見られる。時には数百羽の集団で採餌していることもある。

【11月】

夏の間風蓮湖にいたタンチョウが釧路方面へ、アオサギの群れが本州へ渡り、代わりにオナガガモ、ヒドリガモなど北方で繁殖を終えたカモ類たちで水辺が賑わいます。オオハクチョウは11月中～下旬ごろ最大で4,000羽から5,000羽近くが飛来します。



クロガモ



ウミアイサ



オナガガモ



ヒドリガモ

11.12月の見どころ



オオワシ



オジロワシ

【12月】

厳しい寒さが少しずつ増し、カモ類やオオハクチョウは一部をのぞいて、本州へ渡ります。代わりに次は冬の使者と言われるオオワシやオジロワシが風蓮湖に集まります。

自然学習林ではシジュウカラやハシブトガラ、アカゲラ、エゾリスなどが冬も元気に過ごしています。

見どころMAP

冬鳥のユキホオジロやハギマシコがハマニンニクの実を食べています。



沖にはクロガモやスズガモが群れています。

エゾリスがオニグルミの実を食べたり、貯蓄したり、活発に動いています。



キタキツネコースの木橋が完成しました！

日暮れが刻々と早まり、冬至の頃は15:40には暗くなります。

オオハクチョウや、ホオジロガモ、ウミアイサなどのカモたちが集まります。

ヤマブドウやナナカマドの実を食べにヒヨドリやウソが集まります。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- ⊗ 通行止め

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

エゾシカ恋の季節

秋も深まり、動物たちは冬の暮らしにむけて大忙し。冬眠のために沢山食べて脂肪を蓄えるもの、今のうちから食料を貯蓄するものなど様々です。エゾシカにとって秋は恋の季節。この時期になると鹿の子模様だった夏毛から、オスはこげ茶色、メスは灰色のふさふさした冬毛に生えかわります。オスは首まわりの毛が目立ち、まるでたてがみをまとっているようです。袋角も石灰質の硬い角へと成長し、群れの中のボスを決める角突きがはじまります。ボスとなったオスは、メスの群れに入り、交尾をするために新たな縄張りを作ります。



群れから追い出され単独になったオスは、夜中に遠吠えを行いメスを呼びます。オスにとって秋は一年で最も大切な季節です。そのたくましい姿をじっくりと観察してみたいでしょうか。ただし車の運転には十分お気をつけて！

トピックス

風蓮湖の魅力を探るバスツアー

10月18日（日）に、春国岱から走古丹まで風蓮湖をぐるりと一周するバスツアーを実施しました。当日は小学生から大人まで17名の参加者が集まりました。春国岱からスタートし、川口漁港、風連川河口の湿原、走古丹と周り、最後にスワン44でカモの観察を行いました。折り返し地点となる走古丹は初めて来たという方も多く、春国岱の第3砂丘の森や根室半島をいつもとは違う方向から見て楽しみました。参加者からは、風蓮湖は知っていてもじっくりと見たたことはなく、沢山の魅力を見つけることができたという声や、今まで知らなかった根室を知ることができたなど、改めて風蓮湖の魅力に気づいてもらえたようです。道中、ヒシクイの大群が牧草地に下りるところを偶然見られ、たつぷりと風蓮湖

湖一帯を味わうことができた一日でした。

スワン44でのカモ観察



キタキツネコースの木橋開通（11/2 予定）

昨年12月の高潮により破損していた、キタキツネコースの木橋工事が完了します。着工中に台風23号が接近した時はヒヤヒヤしましたが、従来よりも頑丈なダイヤモンドピアという工法で杭を固定したおかげで、何事でもありませんでした。

木橋から先の開通状況はネイチャーセンターへお問合わせください。



2015

オオハクチョウカウント調査始まる

10月6日に道の駅スワン44にて、秋の渡りで飛来したオオハクチョウの第一陣が確認されました。風蓮湖には毎年たくさんのオオハクチョウが飛来し、多い年には5000羽近くまで達します。ネイチャーセンターでは、毎年飛来数のモニタリング調査を実施しています。同時期に調査することで、オオハクチョウの生息状況や風蓮湖の環境変化についてわかることもあります。

【第1回目の調査結果：1117羽 風蓮湖・温根沼】

春国岱クイズ

先月号の答え…B

今年も風蓮湖にオオハクチョウがやってきました。風蓮湖に氷が張るまでの間、アマモなどの水草を食べて過ごします。水面に浮かんでいるとなかなか見えないのですが、オオハクチョウの足はいったいどれでしょうか。



A



B



C



D



イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
11月8日（日） 10：00 ～12：00	オオハクチョウ観察会 春国岱からゆっくりとオオハクチョウなどのカモの仲間を観察します。あまり動き回らないため、カモの観察はバードウォッチングの初心者にぴったりです。	保険代として 100円	・定員：20名先着 ・対象：どなたでも （小学生以下は保護者同伴） ・集合：春国岱ネイチャーセンター ・参加費：100円（保険代） ・持ち物：野外で活動できる服装、あれば双眼鏡カメラ ・締切り：11月5日（木）
11月15日（日） 10：00 ～12：00	ボランティア説明会 ネイチャーセンターで活動するボランティア募集の説明会を実施します。当日は、展示などに使用する布フェルトを使った小鳥のマグネット作りも行います。	無料	・定員：10名先着 ・対象：高校生以上 ・場所：春国岱ネイチャーセンター ・締切り：11月14日（土）
12月6日（日） 9：30 ～12：30	ことりの巣箱を見てみよう！ 作ってみよう！ 自然学習林にかけた巣箱の中の巣材からどんな鳥が子育てしたかを調べます。そして来年も小鳥が子育てできるように、巣箱を作って森にかけます。	保険代として 100円	・定員：15名先着 ・対象：小学生以上～大人 （小学生以下は保護者同伴） ・場所：春国岱ネイチャーセンター ・持ち物：かなづち・野外で活動できる暖かい服装 ・締切り：12月2日（水）

募集中！

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。主な活動は毎年行っている「ネイチャーセンターまつり」の運営や、自然情報の提供などです。ボランティアは、いつからでも経験がなくても始められます。お気軽にお問い合わせください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円

ネイチャーセンターまつりの
ツリーリング風景（2014）



フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆11月休館日：4日、5日、11日、18日、24日、25日
- ◆12月休館日：2日、9日、16日、24日、25日、30日～1/6まで
開館時間：9：00～16：30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録

祝！
10周年